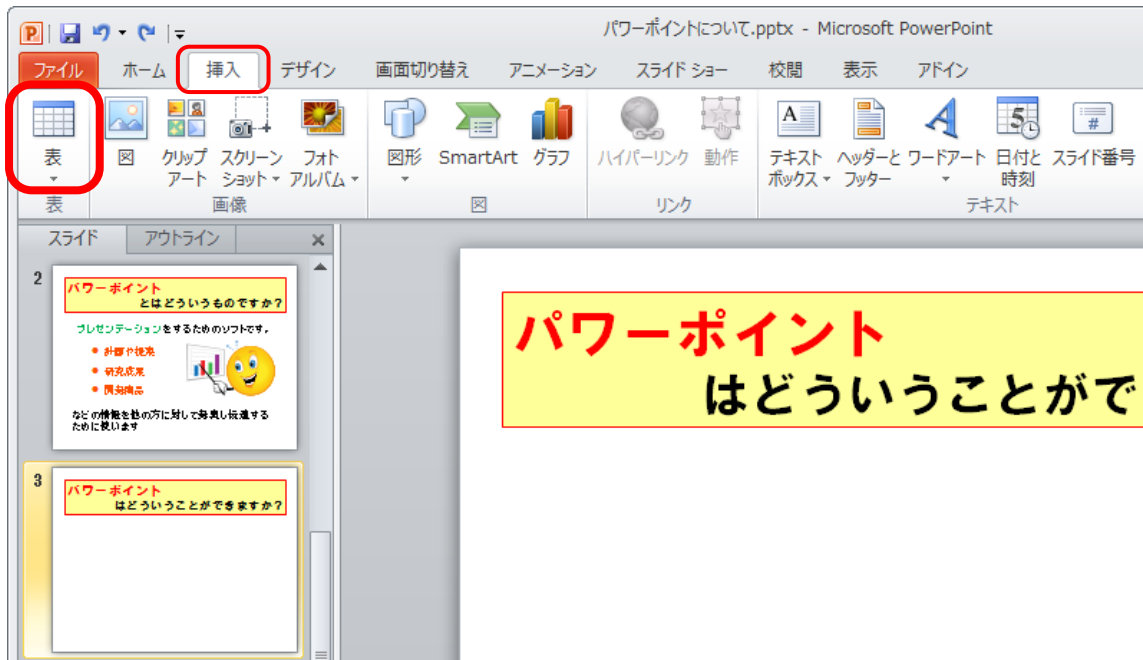


第3章 表の操作

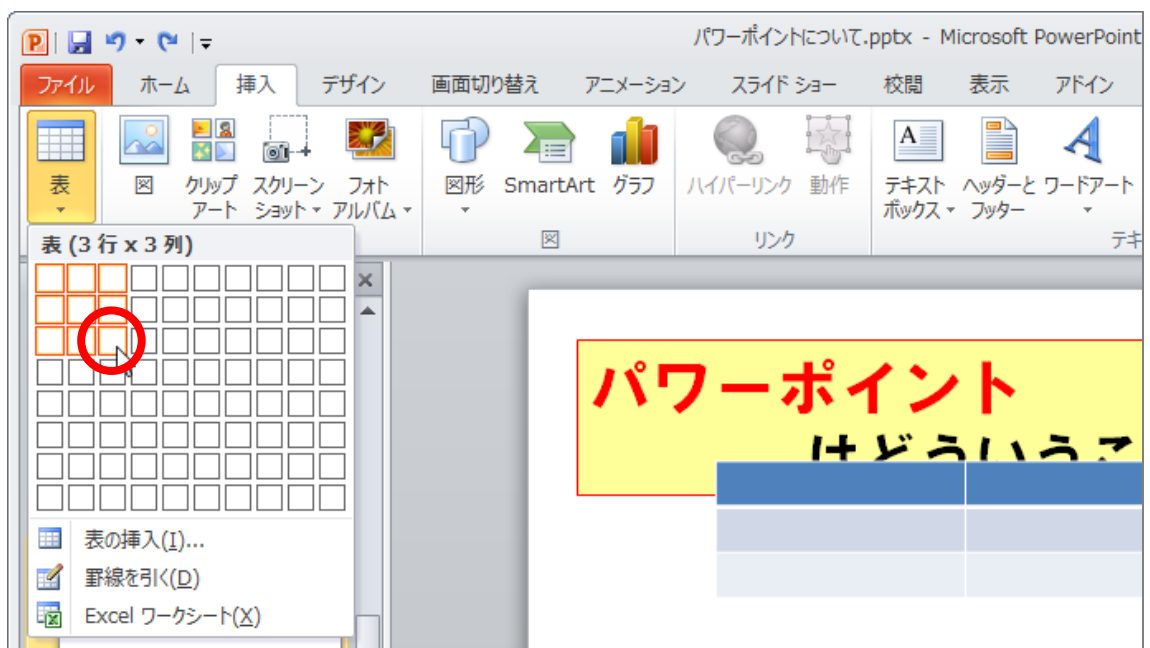
数値データを使用する際、表を用いると非常に見やすくなります。

3-1 表の挿入

- 表を挿入したい3枚目のスライドに切り替えておきます。
- [挿入] リボンの [表] をクリックします。




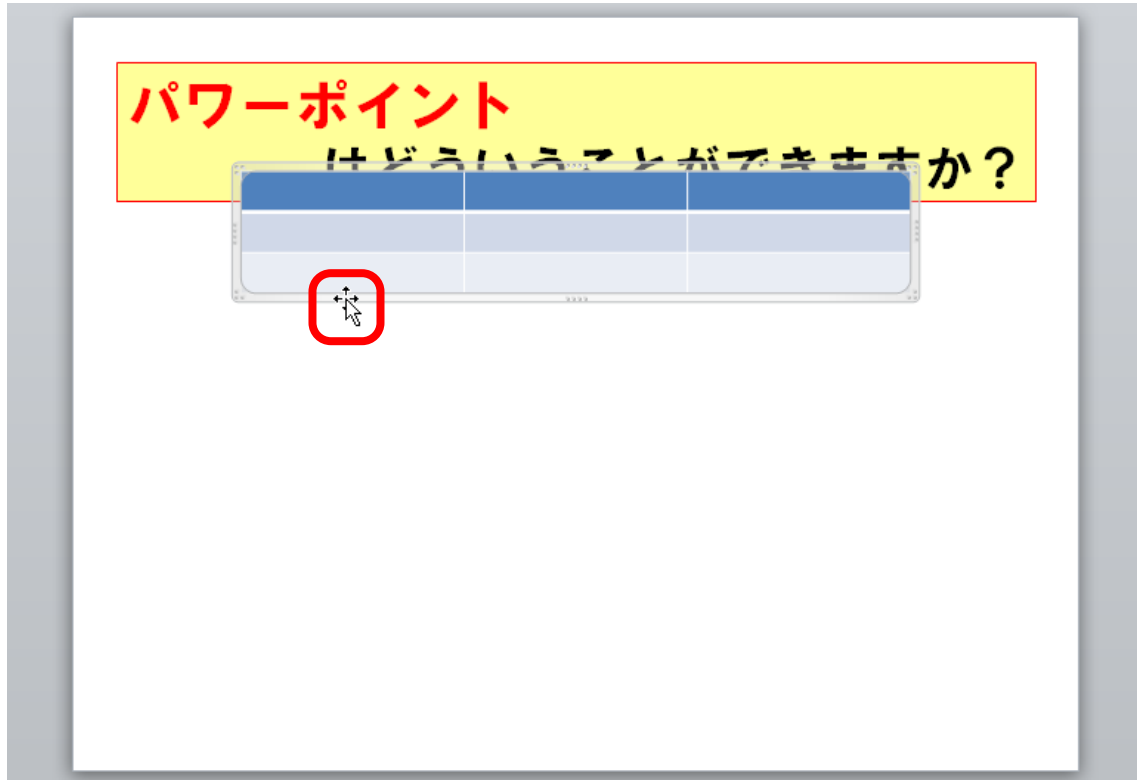
- 下に箱が表示されるので、3行×3列の位置をクリックしましょう。
※スライドに表が挿入されました。



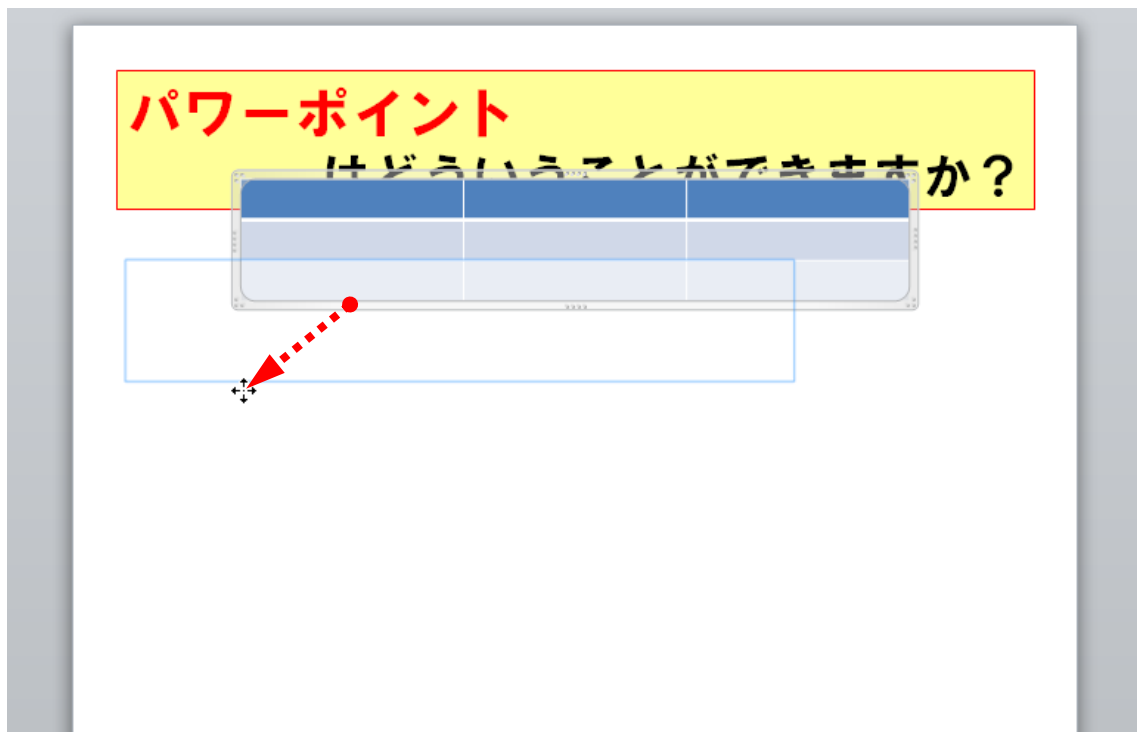
3-2 表の移動・大きさ変更


表は、テキストボックスとほぼ同様の方法で、移動や大きさ変更が出来ます。

- 表の枠線にマウスを移動します。
- マウスポインタの形が  に変わることを確認します。

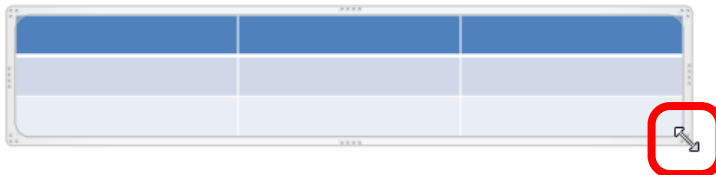


- そのまま好きな方向へドラッグすれば、移動することができます。



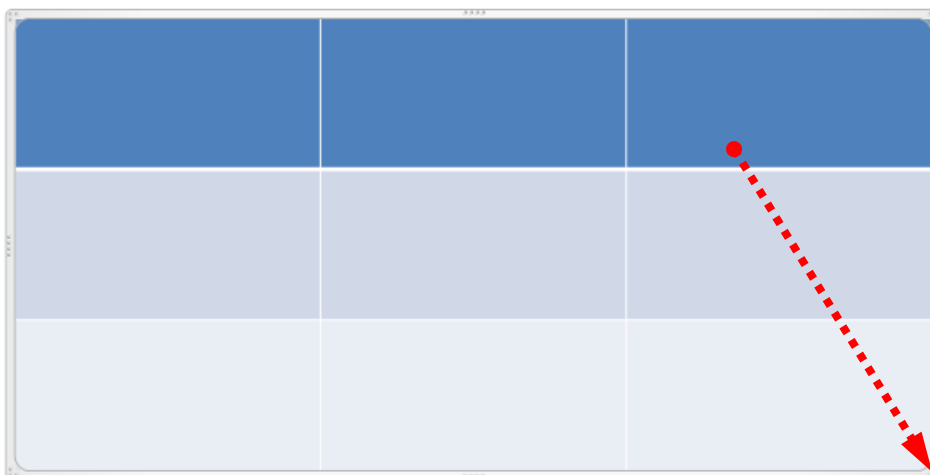
- 表の右下にマウスを移動します。
- マウスポインタの形が  に変わることを確認します。

パワーポイント はどういうことができますか？



- そのままドラッグすれば、大きさを変更することができます。

パワーポイント はどういうことができますか？



《準備》

次の操作の前に、以下のように編集しておきましょう。

(準備1)

- ▶ 表内の文字を入りたい箇所をクリックするとカーソルが移動し、文字を入力することができます。
以下のように文章を入力しましょう。

はとついつことかできまらるか？

機能	できること
レイアウト機能	図形や表、グラフなどを自由に配置し、見ている方に視覚的にわかりやすく説明することができます。
アニメーション機能	配置したものに動きを与え、インパクトのあるプレゼンテーションをすることができます。

(準備2)

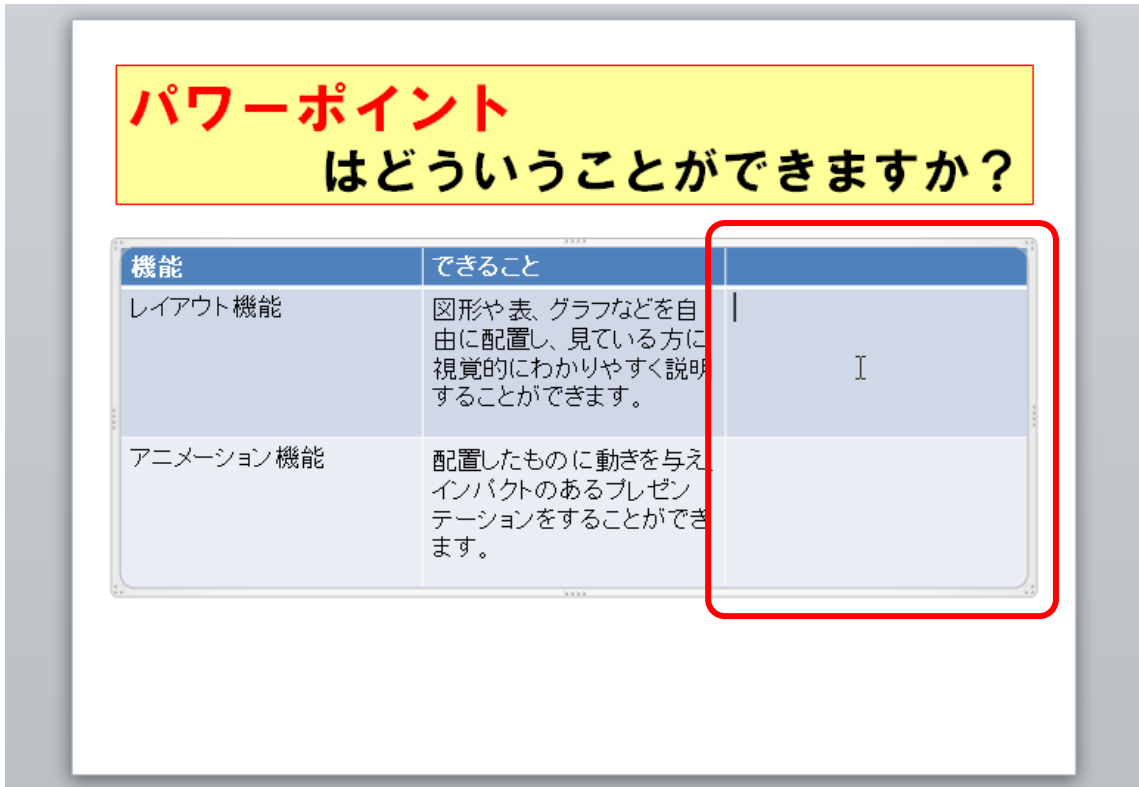
- ▶ 表内の罫線をドラッグすると、行の高さや列の幅を変更することができます。以下のように1行目を狭くしておきましょう。

はとついつことかできまらるか？

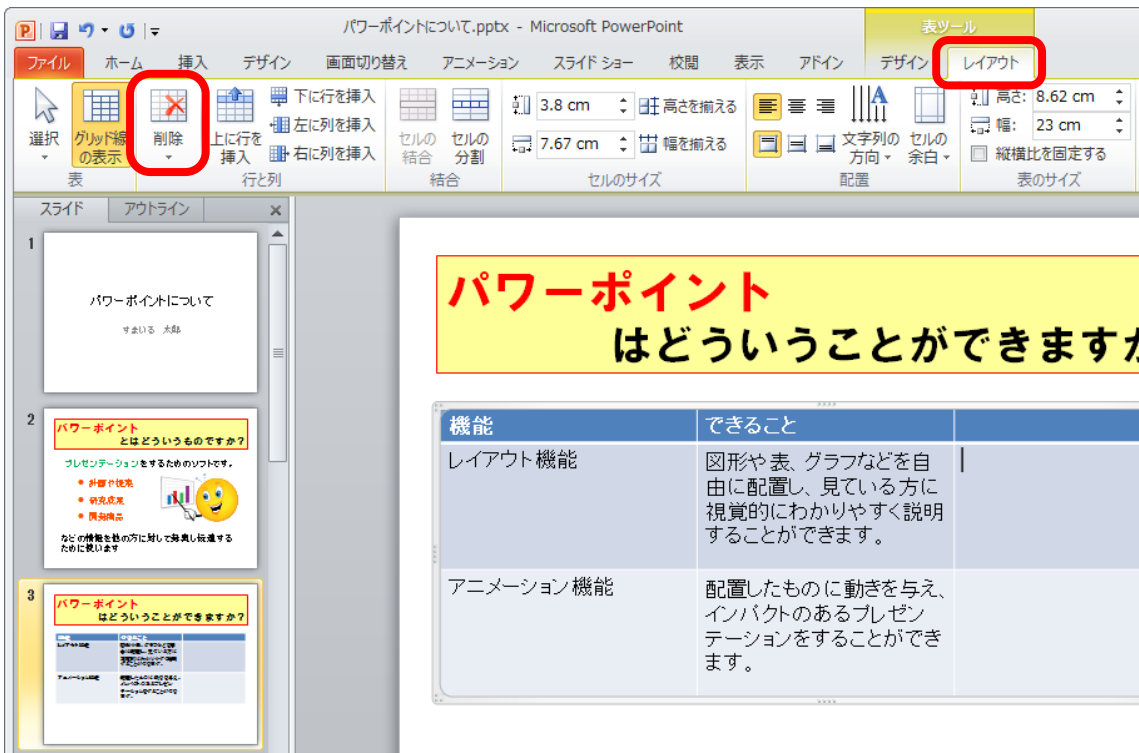
機能	できること
レイアウト機能	図形や表、グラフなどを自由に配置し、見ている方に視覚的にわかりやすく説明することができます。
アニメーション機能	配置したものに動きを与え、インパクトのあるプレゼンテーションをすることができます。

3-3 行・列の削除

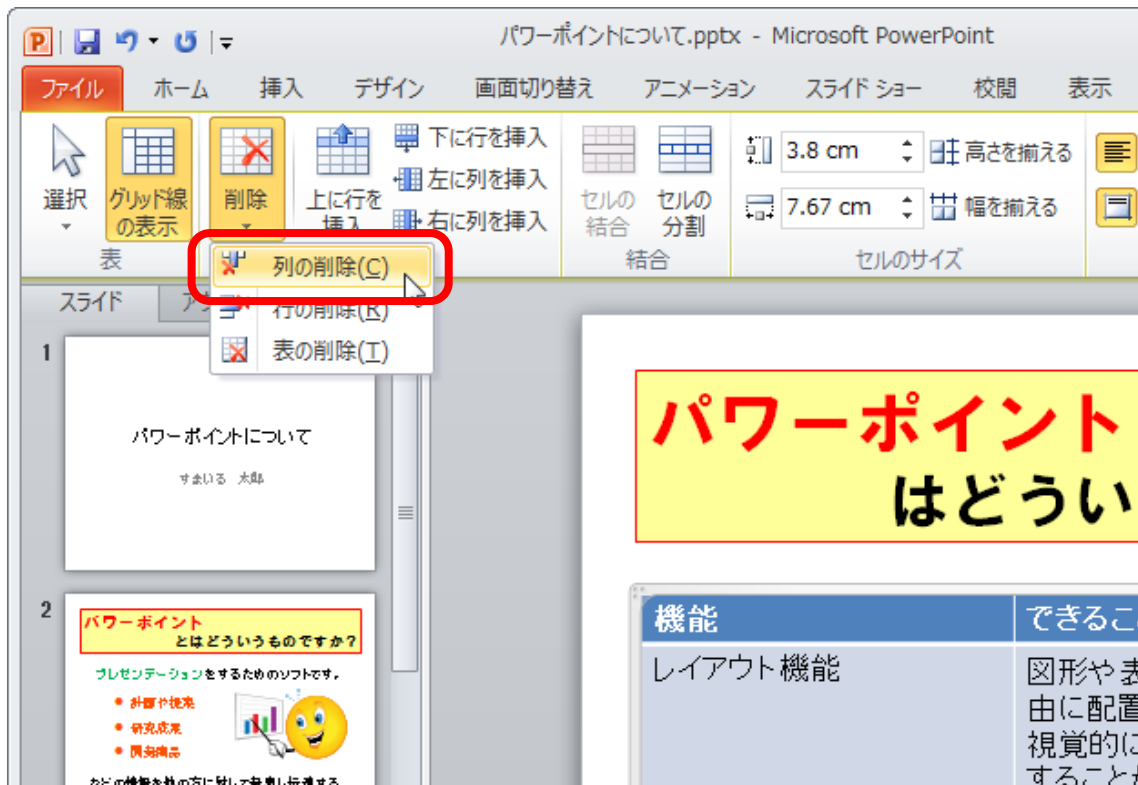
表を作成しましたが、3列目は不要ですので削除します。
➤ 削除したい列のどこかをクリックし、カーソルを移動しておきます。



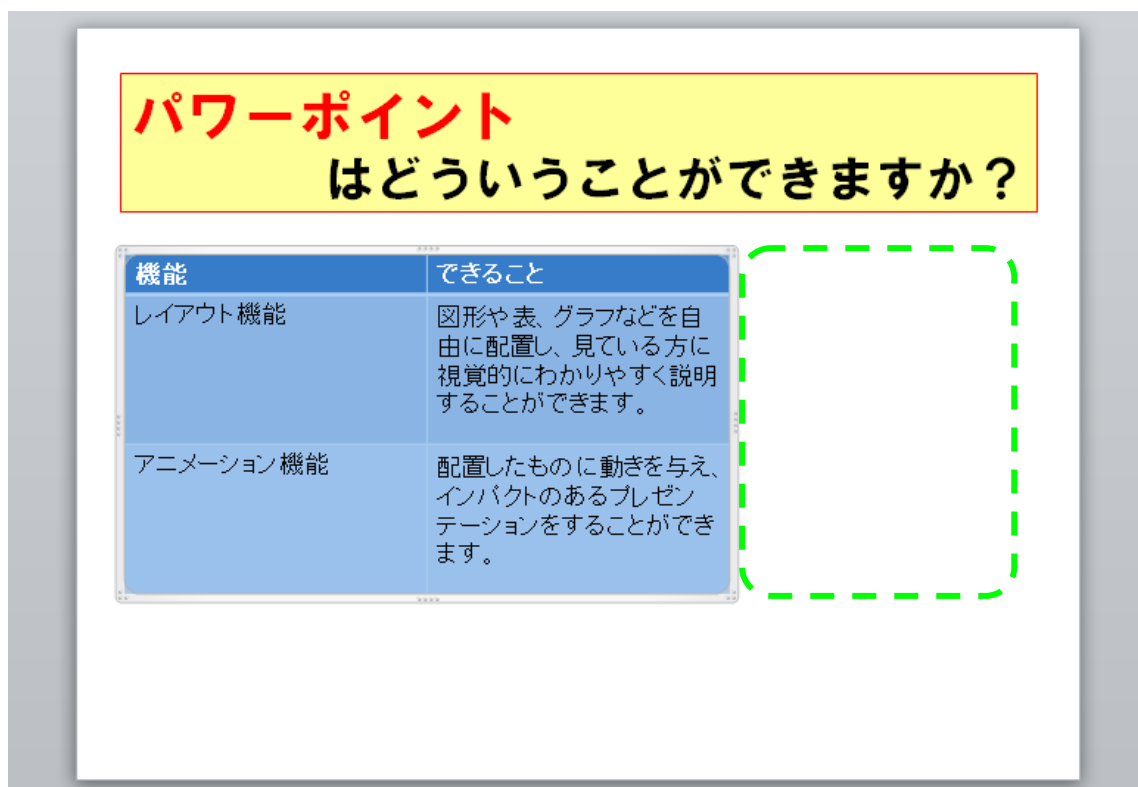
➤ [レイアウト] リボンに切り替えておきます。
➤ [削除] をクリックします。



➤ 下に表示されたメニューから [列の削除] をクリックします。

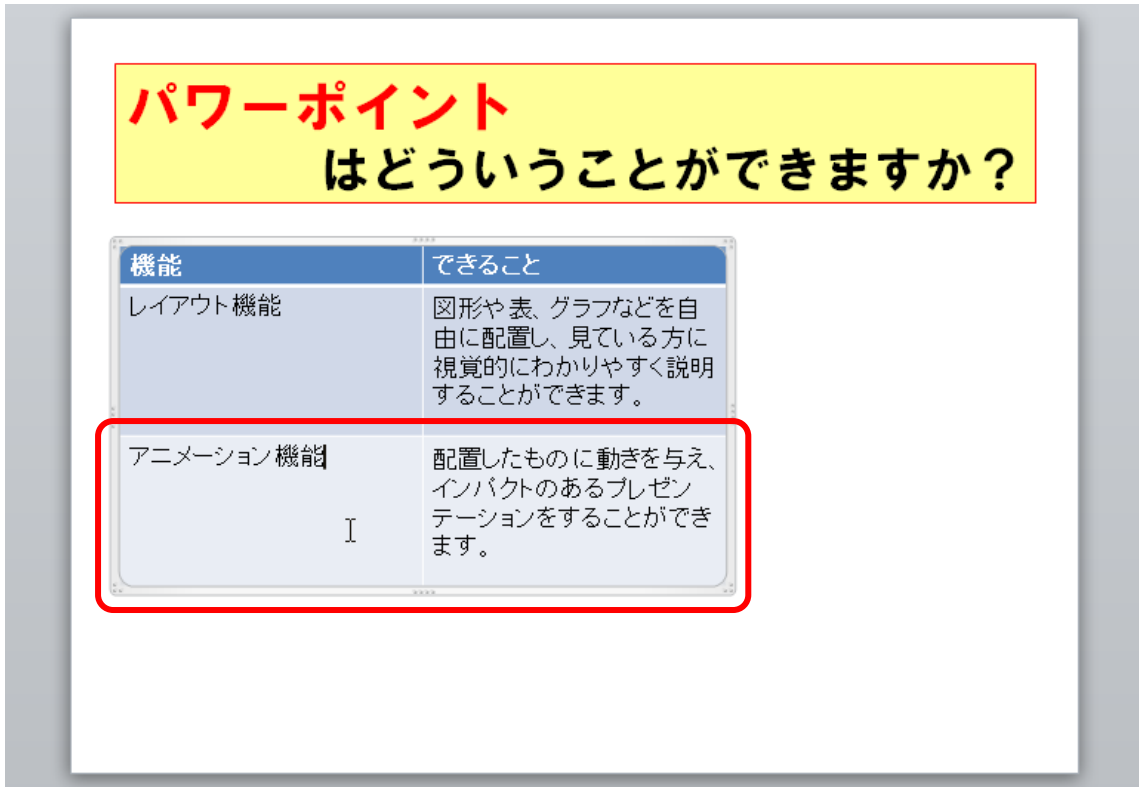


3列目が削除されました。

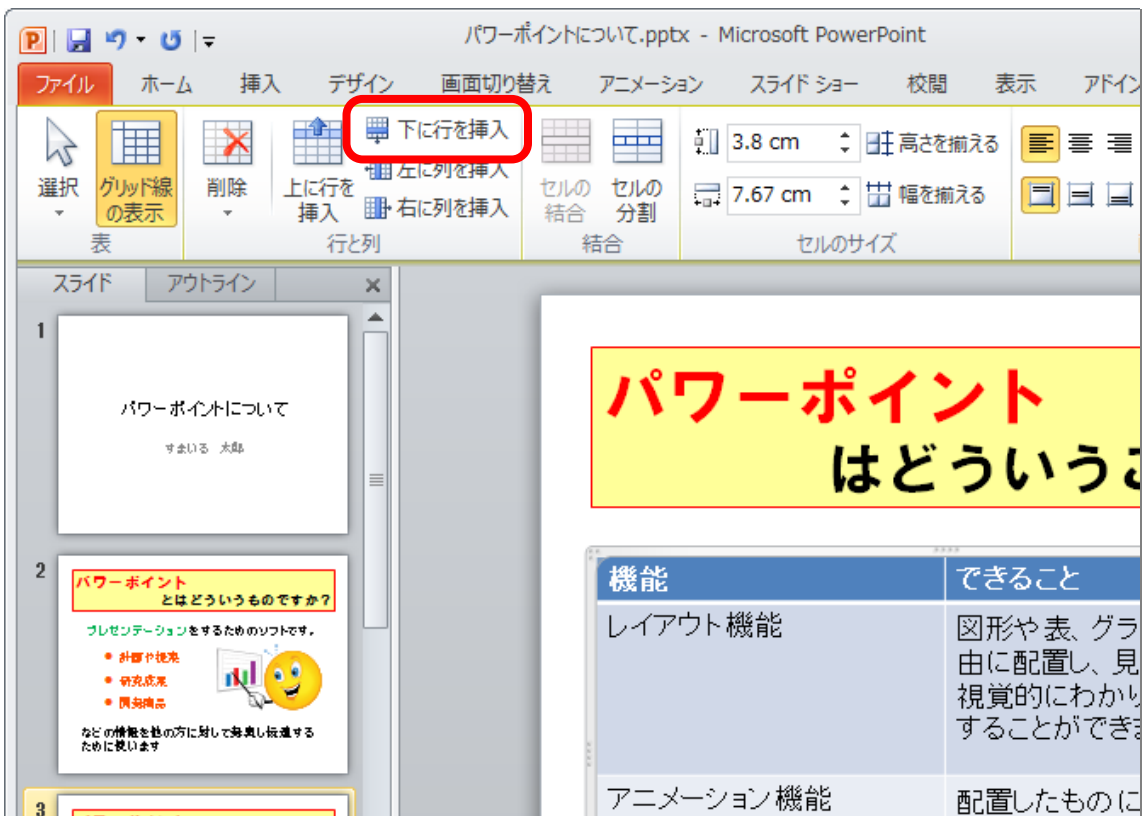


3-4 行・列の挿入

次に機能の説明をもう1つ入れたいので、表の一番下に行を挿入します。
➤ 一番下の行のどこかをクリックし、カーソルを移動しておきます。



➤ [下に行を挿入] をクリックします。





- 表の一番下に新しい行が挿入されました。
- ▶ 以下のように文字入力しておきましょう。

パワーポイント はどのようなことができますか？

機能	できること
レイアウト機能	図形や表、グラフなどを自由に配置し、見ている方に視覚的にわかりやすく説明することができます。
アニメーション機能	配置したものに動きを与え、インパクトのあるプレゼンテーションをすることができます。
プレゼンテーション機能	スライド切り替えのタイミングを変えるなど、発表者がプレゼンテーションをしやすいようにサポートします。

- ▶ 表の大きさを変更しておきましょう。
- ▶ 列の幅も変更しておきましょう。

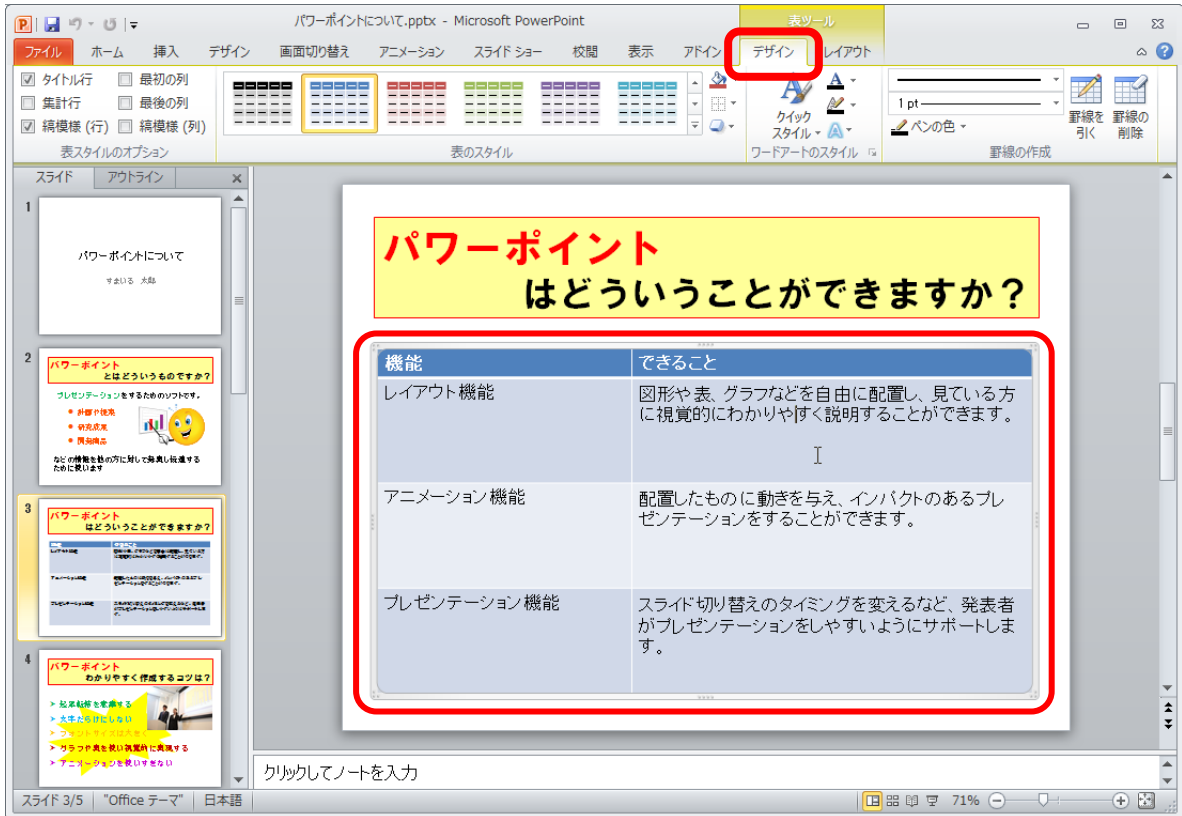
パワーポイント はどのようなことができますか？

機能	できること
レイアウト機能	図形や表、グラフなどを自由に配置し、見ている方に視覚的にわかりやすく説明することができます。 
アニメーション機能	配置したものに動きを与え、インパクトのあるプレゼンテーションをすることができます。
プレゼンテーション機能	スライド切り替えのタイミングを変えるなど、発表者がプレゼンテーションをしやすいようにサポートします。 

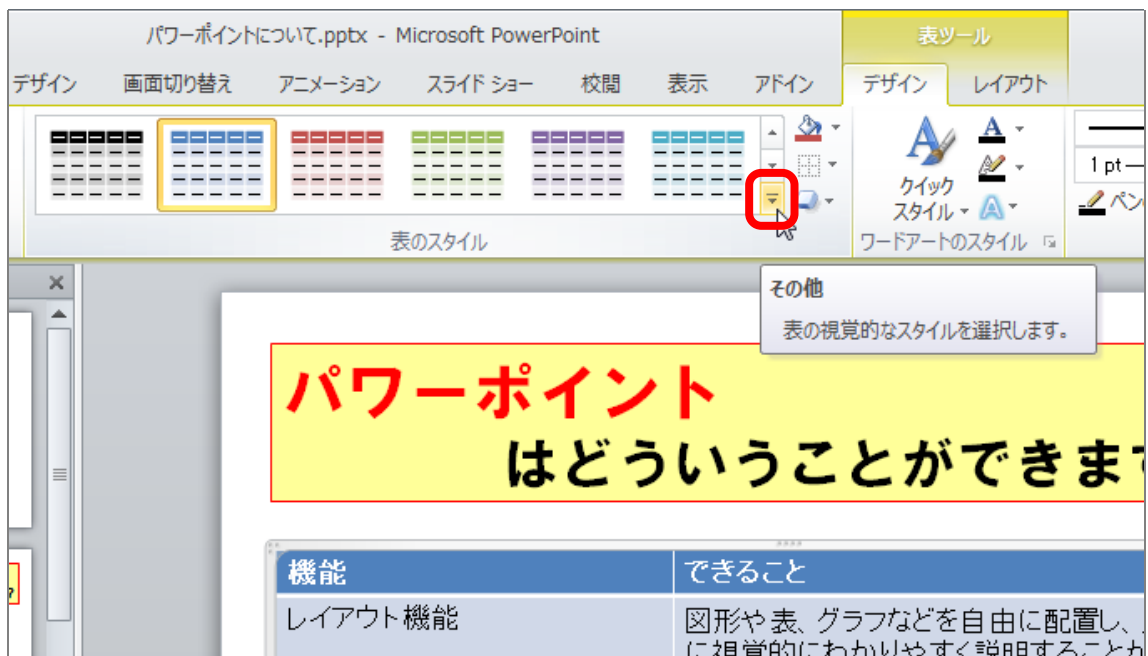
3-5 表のスタイルの変更

挿入した表は、青系統の色で少しさみしい気がしますので、もう少し違った色合いにしましょう。

- 表内のどこかをクリックし、カーソルを移動しておきます。
- [デザイン] リボンに切り替えます。

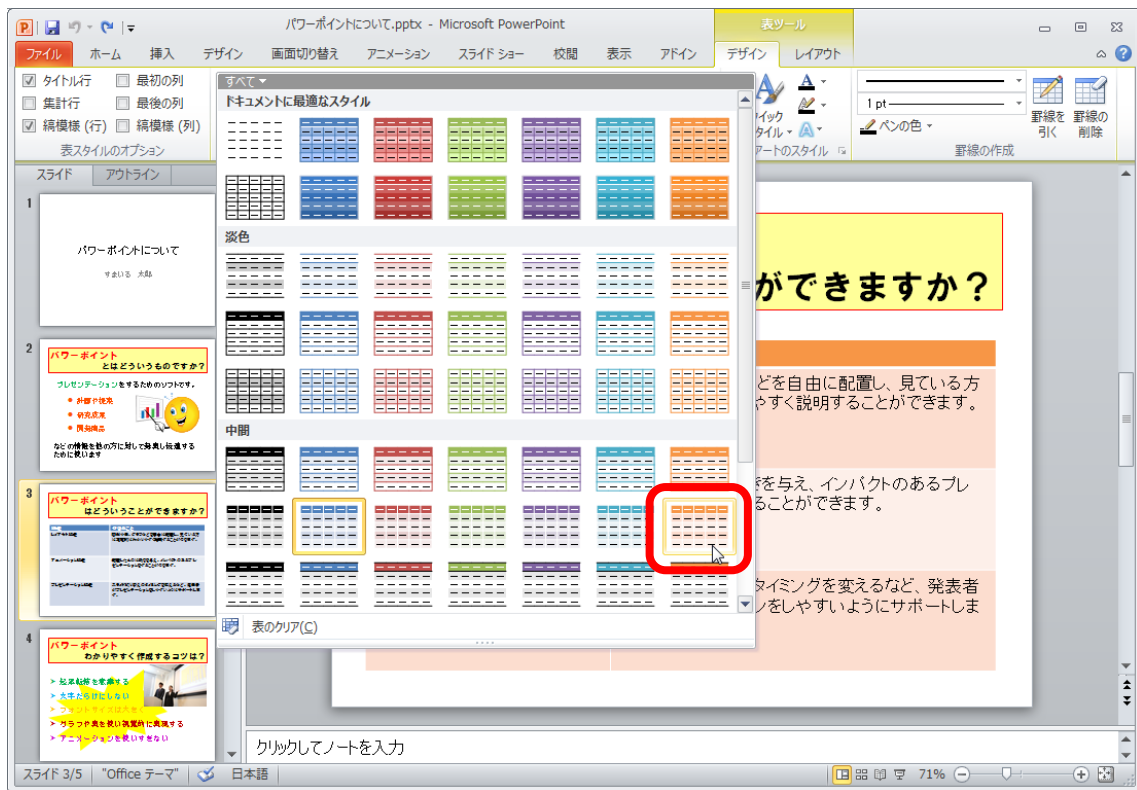


- 表のスタイルにある [その他] ボタンをクリックします。



下にいろいろな表のデザインが表示されます。

➤ お好みのデザインをクリックしましょう。



表のデザインが変更されました。

➤ 文字の大きさをお好みで大きくしておきましょう。

パワーポイント はどういうことができますか？

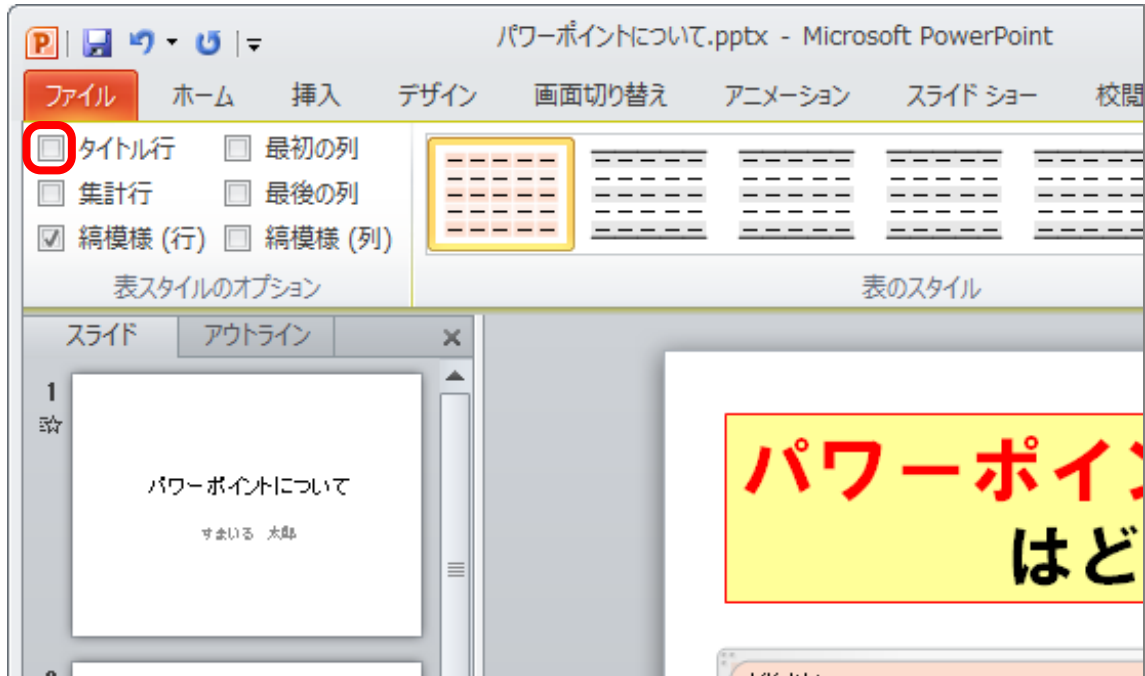
機能	できること
レイアウト 機能	図形や表、グラフなどを自由に配置し、 見ている方に視覚的にわかりやすく説明 することができます。
アニメーション 機能	配置したものに動きを与え、インパクト のあるプレゼンテーションをすることが できます。
プレゼンテーション 機能	スライド切り替えのタイミングを変える など、発表者がプレゼンテーションをし やすいようにサポートします。

3-6 表スタイルのオプション

今回は特に利用しませんが、表スタイルのオプションについて触れておきます。

現時点では、タイトル行（一番上の行）は強調して表示され、行方向に縞模様が入っています。

- 「表スタイルのオプション」にある「タイトル行」の左のチェックを外します。



タイトル行の強調表示が解除されました。

パワーポイント
はどういうことができますか？

機能	できること
レイアウト機能	図形や表、グラフなどを自由に配置し、 見ている方に視覚的にわかりやすく説明 することができます。
アニメーション機能	配置したものに動きを与え、インパクト のあるプレゼンテーションをすることが できます。
プレゼンテーション機能	スライド切り替えのタイミングを変える など、発表者がプレゼンテーションをし やすいようにサポートします。